



# 学校だより



10月号

令和4年9月30日

横浜市立善部小学校

校長 福田 美穂

## あゆみ～振り返りが前進の一步

校長 福田 美穂

日差しはまだ強く感じますが、朝晩の風が気持ちよい温度になってきました。登下校時も熱中症に気を付けなくてもよい気候となり、ほっとしております。

秋めいてきた中、「こうえんたんけん」「秋の小さなともだちさがし」に低学年が元気に出かけていきます。子どもたちが地域に出て改めて気付いたことを発表し合ったり、たくさんの生き物と触れ合ったりして、楽しんで学習していました。「見て見て!ぼくが捕ったんだよ。」「〇〇さんのすごく大きいバッタなんだよ。」「カマキリとバッタを取り換えっこしたんだよね。」顔を見合わせてにっこり笑いながら話す2年生。「公園に行ったら、善部保育園の子がいて一緒に遊んだんだよ。」「公園で遊ぶの楽しかった。」と探検の様子や感想を次々と話す1年生。次にどのような学習に進むのか(どのような活動がしたいか)は、担任と子どもたちで決めていきますが、どの学習でも振り返りを大切にしています。振り返りの中から、できたことを確認して自分で成長を感じたり、さらに疑問が出てきて次の課題となったりと、とても重要な時間です。低学年は、「わ・が・と・も(わかったこと・がんばったこと・ともだちの考えのよいところ・もっと知りたいこと)」を合言葉に授業の終末に振り返りをしています。



どの学年、どの学習でも(毎時間ではないこともありますが)行う「振り返り」と「次の活動」が積み重なり、子どもの「歩み」になります。前期終業の日に子どもたちが手にする「あゆみ」は、今の自分の姿を再確認し、次の一步を踏み出すエネルギーになってほしいという思いで作成しています。他都市では成績表というかもしれませんが、横浜市は「あゆみ」。そこには深い意味があるのです。

さて、GIGAスクールが始まって1年がたちました。端末(iPad)の活用が進んでおり、中・高学年からは「ノートに書くより、キーボードで打った方が何倍も速いから、書くのが苦でなくなった。」「自分で考えて色分けできるから、見やすいし分かりやすい。」「写真を撮って見せ合えるのが楽しい。比べやすいのもいい。」と好評です。使い方、使用する時間や場所、使ってよいアプリなど約束を守りながら子どもたち同士で教え合うので、格段に技能が高まっています。今後も、鉛筆で書くことや図書等の資料の活用とのバランスを考え、ICT機器の効果的な活用に取り組んでいくようにいたします。

子どもたちの登下校で大変お世話になっている「黄色いベストさん」のおかげで、子どもたちの通学の安全が守られています。今年も旭区安全安心功労者として中央会自治会の久保 三雄様、南希望が丘自治会の小貫 宏様、善部西自治会の片山 喜子様の方々が表彰されます。善部小安全ボランティアとして4年連続の表彰ということで大変素晴らしいこととお祝いいたしますとともに、これまでの活動に深く感謝申し上げます。